



日本共産党
いちくら すみこ
一倉 澄子 議員

イスラエルによるガザ攻撃に対して非核平和都市宣言の都 市の市長としての気持ちは

Q イスラエル軍のガザへの大規模攻撃は許されない。市長の思いはどうか。

A どんな理由があつたとしても、イスラエル軍のガザへの大規模攻撃は、許されないものだと思つてい

島原市立小・中学校将来的再 編基本計画

Q この間の市民への説明会で出された疑問、意見はどのようなものか。

A 進めるべきとの前向きな意見の一方、遠距離通学、人口減少対策についての課題や意見が寄せられた。これらの声を受けて、地域住民と丁寧に協議する学校編成であることを基本姿勢とする。

国民健康保険加入者の状況

Q 国保税等の軽減を求める声が多いが、国保加入者の職業や経済的状況はどうか。

A 加入者の年齢が高くなっており、年金収入、パート、アルバイト、自営業の方などである。滞納世帯へは納税相談などを行っている。

国保財政の基盤強化のため、全国市長会などを通じ、引き続き国へ財政支援を要望していく。

【その他の質問項目】
◇企業誘致に係る調査の進捗状況
◇市民の要望にどう寄り添うか

- ・バス減便
- ・地域公民館の改修事業
- ・敬老お祝い入浴券

Q 子供の意見を聴く機会の計画はあるか。
A まずは、保護者、地域の大人の考えを聴きながら、その意見を反映させていきたい。



カラフル
ほんだ みえ
本田 みえ 議員

持続可能な社会を目指して 100年後の未来に何を残す のか食の安全は守られるのか

Q 食糧自給率は。
A 全国38%、島原市79%、長崎県41%。

Q 農家の年間所得の推移は。
A 原油価格の高騰で、家畜飼料用や化学肥料の原料が高水準で推移し、農業経営を圧迫している。認定農業者の農業経営改善計画を基に算出した農家1戸当たりの年間所得は、令和4年度約720万円と増加傾向。

Q オーガニック農業への転換を。
A 今の農業をしっかりと支え、将来的にはオーガニックも非常にいい農法だと考えている。

未来を育む教育は

Q 本市の未来の教育の姿として、どのような教育を目指しているのか。

A 子供一人一人に将来にわたって生きる力をも身につかせ、自立したときに、集団生活の中でよりよく生きていくための社会性を培う学校。

Q 小規模学級のメリットは。
A 子供の人数が少ないため、意見や感想を発表できる機会が多くなる。一人一人の学習状況を的確に把握し、きめ細やかな指導ができる。生活面でも家庭の状況、地域での様子が把握しやすいため、家庭、地域と連携した効果的な指導ができる。

Q ふるさとの環境を生かした教育こそ、島原の強みと思うが。
A 三会小、三会中、農高が連携、協働し、地域の魅力を知る、地域の課題解決や魅力を発信する研究を進めながら、子供たちが学びを展開していくモデル的なカリキュラムを作成する。

Q 諦めさせない教育を。
A 子供たちに最適な基本的環境を提供することは、行政が真剣に考えることだと思う。

島原城築城500年を目指して

Q 市長が思い描く100年後に残す未来は。
A 城下町らしさ、湧水や温泉も残ってほしい。若者がこれからのまちづくりに参画してほしい。